

# ～地域の皆様と共に学び・共に考える②～

## 古川第二小学校防災研修会 活動レポート



### 地域の実情を知り、共有する

8月21日に大崎市立古川第二小学校にて、先生方を対象とした「校内防災研修会」が行われ、本会地域福祉担当がお招きを頂き、地域の状況や立地の状態に沿った防災対策についてのお話をさせて頂きました。

古川第二小学校はすぐ近くに一級河川の江合川があり、大雨等による洪水が発生した場合、浸水想定区域となっており、最大で水深が5mに達することが予想されています。

今回の講話の中で、初めてその実情を知り、驚かされている先生方もおりましたが、近年ではそのような災害が発生していないため、これまではあまりピンと来なかったことだという声も聞かれました。

しかし、広島県で発生した土砂災害や山形県南陽市で発生した豪雨災害等、決して他人事ではない事であると、先生方の関心もかなり高いものを感じました。

このように身近ではなかったことが、実際には身近に起こり得るということを知り、どのような対策を立て、地域の学校の安全を守っていくのか?をグループワークの中でディスカッションを行いました。

古川第二小は堤防を挟んですぐ近くに江合川が流れています↓



### 課題・諸問題・対策を共有する

グループワークの中で、災害が発生した際に想定される様々な諸問題が浮き彫りとなり、しっかりとした対処をするにはどうしたら良いのか?各グループ熱のこもった議論が交わされておりました。

今回の研修を終えて、先生方から寄せられた感想として、「学校の抱える地理的状況について改めて再認識することが出来た」「普段から(災害の)イメージを持ち、全員で共通理解を持つことが大切だ」「子どもの生命を預かるたち場として迅速な対応が出来るよう、危機意識が高まった」といった声が多く聞かれ、地域の実情や実際に災害が発生した場合に考えられる諸問題とその対策について、各々が共通認識を持つことが出来、意識の向上や今後の活動の指南にもなっています。



大崎市社協では、今回ご紹介いたしました学校での活動をはじめ、各行政区単位においても地域の皆様とその地域の福祉について、共に学び、共に考え、安心して住める地域づくりのために様々な分野の福祉講座や講話を行っております。

防災をはじめボランティア関連、介護関連、皆様のご希望に沿えるよう、様々なメニューを取り揃えておりますので、お気軽に各支所までお問合せください!

# ～地域の皆様と共に学び・共に考える①～

## やさしい町づくりのために



### ～大崎市立岩出山小学校5学年総合学習～

9月19日(金)大崎市立岩出山小学校5学年の皆さんが総合学習の時間として「みんなにやさしい町」をテーマに学習を進めており、その一環として、「福祉」についての勉強のため、古川保健福祉プラザを訪れました。

まず、「福祉」とは何か?その意味を知り、自分達が暮らす大崎市では、福祉について、どのような取り組みを行っているのか?

何気ない日常の中にも「やさしい町づくり」の材料はたくさんあり、みんなで支え合い、助け合うことで、心から豊かな町づくりが出来るということを生徒の皆さんと共に学び、やさしい町づくりをしてゆくには何が 필요한のか?を共に考えました。



その後、実際にどのような所に「やさしい町づくり」の材料があるのか?を保健福祉プラザ内の見学を行ない、中央デイサービスセンターや機能訓練室をはじめ、館内に設置されている点字ブロックや手すり、段差のない各部屋の出入り口、車イスの方が乗り降りしやすいようにボタンや鏡が配置されたエレベーターやトイレ等、初めて見る設備や福祉用具などを皆さん、興味津々と見ておりました。

講義と施設見学を通じて、生徒の皆さんからは「困っている人を見たら助けたい」「段差が無くて車イスでも移動がしやすい」「点字ブロックの意味を知ることが出来た」といった声が聞かれました。

生徒の皆さんの学習する姿勢に頼もしさを感じると共に、皆さんと一緒に学び、考えることで、社会福祉協議会の意義である「誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり」の推進に繋がって行く事を改めて感じる事が出来ました!

